

春号

2017
VOL.06

Contents [目次]

入職式	2P
新入職者紹介	3P
新任医師紹介	4P
連携室だより	4P
医師コラム	5P
看護部だより	6P
リハビリテーション科だより	6P
スプリングコンサート	7P
特別講演会	7P
グループ病院紹介	8P
アクセス	8P

四季
だより

こ
し
た
ん
だ
だ



平成29年度 入職式



平成29年4月3日(月)、57名の新入職員を迎えて入職式を執り行いました。新卒の新入職者も数多くおりました。今回の入職式は病院向かいのTOCビル13階の会議室をお借りしての実施でした。皆さん緊張していましたが先輩職員と昼食を共にした後は徐々に同期の仲間同士うちとけてきたように見えました。

式とオリエンテーション終了後の夕方には、松谷雅生院長からの特別講演や懇親会も開催され、先輩職員との懇親を深めることもできました。

新入職の皆さんはこの日のフレッシュな気持ちを忘れずに、より良い病院を目指して一緒に頑張ってください！

新入職者紹介



看護部
副看護部長

高橋 季子

(たかはし ひでこ)

- 出身地：栃木県
- 趣味：オカリナ演奏

イチゴ農家の娘です。若い頃は「おたんなース」と言われながらも無我夢中で仕事をしてきました。看護人生苦節(笑)37年間上司、先輩、患者様から教えていただいた「看護の心」に「おばさん力」をプラスして懸命に働いて参る所存です。



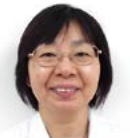
看護部
5・6階病棟看護師長

朝倉 佳代子

(あさくら かよこ)

- 出身地：東京都
- 趣味：スキー

こんにちは!生まれも育ちも浅草で観音様の屋根と花やしき(最古の遊園地)はいつも見えています。親戚も半径5キロ圏内におります。東京生まれの東京育ちの割には浅草以外ほとんど知りません。また長い看護師人生は、急性期病院で勤務してきました。回復期のリハビリテーション中心の病院は初めてですが、1つ1つ日々学び早く皆様の力になれるよう頑張りたいと思います。



看護部
7・8階病棟看護師長

石飛 和子

(いしとび かずこ)

- 出身地：埼玉県
- 趣味：ガーデニング

3月まで都立病院で看護師長として主に急性期看護に携わってまいりました。回復期リハビリテーションには患者様を送る側の立場でしたが、入職して患者様・ご家族様を支えるスタッフの熱い思いや患者様自らがADL向上、再獲得に積極的に取り組むいきいきした表情を目の当たりにし、回復期リハビリテーションの素晴らしさを実感しています。私もチームの一員として在宅復帰支援に向け貢献していきたいと思っておりますので、宜しくお願いします。



看護部
9・10階病棟看護師長

長田 節子

(ながた せつこ)

- 出身地：岩手県
- 趣味：テニス

都立広尾看護専門学校卒業後都立病院で働いてきました。今回五反田リハビリテーション病院に縁がありお世話になります。回復期リハビリテーションに関する知識を学び今までの経験を融合させて頑張っていきたいと思っております。



看護部
看護師

岡澤 和美

(おかざわ かずみ)

- 出身地：東京都
- 趣味：ディズニー全般、園芸

皆さん、はじめまして。3・4階病棟へ配属された、看護師の岡澤和美です。今まで急性期病院でしか働いたことがなかったのも、何もかもが目新しく新鮮な気持ちで働いています。まだ皆さんの名前と顔が一致しなかったり勝手が分からなくご迷惑をおかけしますがよろしくお願ひ致します。



看護部
看護師

佐藤 玄樹

(さとう げんき)

- 出身地：長崎県
- 趣味：スポーツ

この度、縁があって五反田リハビリテーション病院でお世話になることになりました。今まで整形外科の急性期で働いていたこともあり、回復期リハビリ病棟は初めてではありますが、日々回復されていく患者様のお力になれるよう精進していきたいと思います。宜しくお願い致します。



看護部
看護補助者

平田 有希恵

(ひらた ゆきえ)

- 出身地：愛知県
- 趣味：映画鑑賞

皆様、初めまして。ケアワーカーの平田と申します。今年度4月より五反田リハビリテーション病院に勤務することになりました。若干、27歳のひよっこではございますが、ケアワーカーとして、どんな患者様にも寄り添い温かい関係を築けるように精進していきたいと思っております。至らぬ点多々あると思っておりますのでどうか温かい眼差しとご指導ご鞭撻の程宜しくお願い致します。



リハビリテーション科
理学療法士

甲斐 雅也

(かい まさや)

- 出身地：福岡県福岡市
- 趣味：野球・旅行

4月に入職いたしました、新人の理学療法士の甲斐です。入職してから1ヶ月程が経りましたが毎日不安と戦いながら仕事に励んでいます。しかし、業務や技能を熱心に教えてくださいました先輩方や頼りになる同期達に囲まれ、少しずつではありますが不安が取れてきました。これからも患者様に信頼される理学療法士になれるよう、日々腕を磨いていきたいと思っております。



リハビリテーション科
理学療法士

秋岡 優太郎

(あきおか ゆうたろう)

- 出身地：山口県下関市
- 趣味：ツーリング、ライブ参観

新人の理学療法士の秋岡です。入職して2ヶ月が経とうとしていますが、入職当初は不安なことが多く、慣れない新しい環境に毎日が新鮮なことばかりでした。しかし、業務や治療など様々なことを教えてくださった先輩方や、頼りある同期に出会い、1日1日が充実しています。まだまだ未熟者ではありますが、社会人として、理学療法士として、少しでも患者様のために貢献できるように努力していきたいと思います。



リハビリテーション科
作業療法士

鈴木 春瀬

(すずき はるせ)

- 出身地：秋田県雄勝郡
- 趣味：音楽鑑賞

4月からリハビリテーション科に入職させていただきました。作業療法士の鈴木です。経験年数は3年目ではありますが、新しい環境での仕事はとても刺激があって充実しています。また、患者様との関わりにおいては特色なども異なり、毎日が勉強になっています。技術や知識はまだ未熟ですので、先輩や同期から多くのことを学んでいきたいと考えています。これからも宜しくお願い致します。



医療連携室
社会福祉士

松澤 寛子

(まつざわ ひろこ)

- 出身地：東京都
- 趣味：映画鑑賞、相撲観戦、食べ歩き

4/1付で入職した社会福祉士の松澤寛子です。前職では足立区の地域包括支援センターで認知症施策推進に携わってきました。また同居の祖父母を介護してきた経験があります。病院の相談員としての勤務は初めてですが、これまでの経験を活かし、患者様とご家族様に寄り添った支援を行っていききたいと思っております。よろしくお願ひいたします。



総務課
係員

小林 透

(こばやし とおる)

- 出身地：神奈川県
- 趣味：卓球・音楽鑑賞

4月より総務課にて勤務をさせていただいている小林透と申します。初めて五反田リハビリテーション病院を訪れたとき、ホテルのような外観にまず驚き、屋上からの素晴らしい景色や、リハビリをする患者様と職員の方の様子がとても印象に残っていて、このような環境で働けることをとても嬉しく思っています。一日も早く業務に慣れ、職員の方々が働きやすい職場になるよう貢献していくことができるよう頑張っていきたいと思いますので、どうぞ宜しくお願いします。

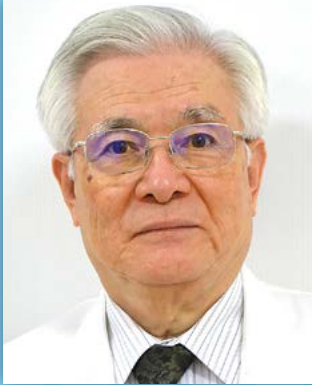
新任医師紹介



副院長
喜多村 孝幸 (きたむら たかゆき)

- 脳神経外科 専門医
- 昭和57年 日本医科大学卒
- 昭和61年 日本医科大学大学院修了
- 日本医科大学脳神経外科 教授
- 日本医科大学武蔵小杉病院脳神経外科 部長
- 日本脳神経外科学会代議員 日本神経内視鏡学会理事
- 日本頭痛学会理事 日本疼痛学会理事

患者様の予後を決定するのは、適切な初期治療と質の高いリハビリテーションだと思います。今まで大学病院で最先端の治療の提供に努力してきました。今後は患者様にとって最高のリハビリテーションを提供できるよう努力します。



医師
佐藤 誠太郎 (さとう せいтарう)

- リハビリテーション科
- 昭和45年3月 東京大学医学部医学科卒
- 昭和45年6月 東大病院脳神経外科入局
- 昭和52年1月 東大分院第4内科入局
- 昭和62年9月 春日居温泉病院院長
- 平成7年10月 春日居リハビリテーション病院名誉院長
- 平成21年5月 清川病院リハビリテーション科勤務

父が昭和40年代に脳梗塞を発症し、30年前に山梨の病院に父と一緒にいく事になったのが、リハビリ医療との出会いでした。患者様の全人間としての復権に少しでもお役にたてるよう頑張りたく、宜しくお願い致します。

医療連携室

私たちは、患者様に安心して入院し、満足して退院していただけるよう、常に丁寧な対応を心がけています。

医療連携室とは…

スタッフ構成：看護師2名、MSW10名、事務1名

医療連携室は地域の医療機関との連携を深め、患者様の入退院がスムーズに行えるよう日々努力しています。

他医療機関からの患者様のご紹介への対応はもちろんのこと、患者様・ご家族と共に退院先を一緒に考えます。

在宅医療・福祉サービス提供事業者や、病院・福祉施設への連携をスムーズに図ります。

入院生活・退院についてのご相談

入院中のお困りのこと、今後の在宅生活や転院についてのご質問がある方は、各病棟にソーシャルワーカーを配置しておりますので、スタッフステーションで、お声かけください。医療保険制度や介護保険制度、障がい者福祉制度など各種制度についても聞いていただければと思います。

どんな些細な事でも構いません。お気軽にお声かけください。

医療相談窓口（1階受付）

医療連携室の受付時間

9:00～16:30（月～土曜日）

- 入院相談：安藤、加藤（百）、黒瀬、下村、宮崎
- 病棟担当：海老原、田口、加藤（晴）、篠崎、石塚、松澤、小又、板谷

☎ 03-3779-8826（直通）



リハビリテーション医の独り言



副院長 石川卓志

今回は「リハビリテーション医学・医療の変遷」ということについて述べたいと思います。

リハビリテーション(以下「リハ」と略します。)の先進国アメリカでは、リハ医療は第1次・2次大戦の傷痍軍人の社会復帰を目的として、物理医学(Physical Medicine)として、物理療法・マッサージ・水治療法・運動療法等の様々な古典的治療手法を用いて19世紀から始まりました。社会復帰や職業復帰のためには、身体機能だけでなく社会適応能力の向上も要求され、急速に発展してきました。

日本のリハ医療はポリオを主とする肢体不自由児への対応として始まり、戦後は傷痍軍人や交通事故等の成人に対する治療(多くは整形外科的治療)の後療法として根付いてきました。それを担う専門職域の教育は、戦後アメリカの制度が導入され、1963年に東京清瀬で理学療法士及び作業療法士の教育が始まり、卒業生に対する国家資格も制定されました。当時は日本語の教科書はなく、外国人教官によりすべて英語で行われていました。その後の人口の高齢化による疾病の複雑化に伴ってリハの必要性は増大し、全国に養成校も増え、関連領域の義肢装具士や言語聴覚士の国家資格制度も相次いで発足しました。就業している療法士の数もPT(理学療法士)は約14万人、OT(作業療法士)は約5万人、ST(言語聴覚士)は約3万人で、現在では病院だけでなく地域に根付くパワーとなっています。

一方医師に対する我が国のリハ医学教育は立ち遅れ、あくまで「後療法」という考え方であったため、当初、各科の初期治療が優先されました。従って治療が一段落して、療法士に「あとはよろしく」的な対応で、大半の医師はリハの内容については無関心でした。1963年に日本リハビリテーション医学会が創立され、リハ専門医育成が開始されましたが、リハ専門医数は現在全国でまだ2200人強にとどまっています。今では疾病早期からの積極的リハは社会常識であり、リハ医療を有効に機能させるには治療現場への担当医師の細やかな関与が更に重要で、リハ専門医はその中核であるべきと言いながら、圧倒的な数不足からまだすべての現場に対応できるというにはほど遠い現状です。今後良質のリハ専門医育成が肝要なのですが、質のハードルを上げ過ぎても数が確保できず、今後の育成制度の在り方が課題となっています。

いずれにしても近年の医学の発達は目覚ましく、治療も低侵襲化・早期社会復帰志向となり、それに加え生活の質(QOL)を重視する時代となっています。疾病・障害が重度化している今日、患者様・ご家族様に満足していただける医療を提供するためには、リハ医学の更なる向上が必要と感じている今日この頃です。

看護部だより



接遇研修

平成29年5月15日(月)に今年度第1回目の接遇研修を開催しました。合計3回行う予定で約140名の参加を予定しています。講師はカマチグループ巨樹の会の教育担当:櫻井美鈴先生です。グループワークもあり、積極的にスタッフが参加できる大変有意義な研修でした。実際に研修を受けた新入職員の声を下記に紹介します。

5月に入職し、今回初めて接遇研修に参加させて頂きました。今回の研修で特に印象に残り実践していきたいと思ったことは“相手を肯定する”ということです。人は基本的なニードとして生理的欲求・安全の欲求・愛と所属の欲求・承認欲求があり、これらを満たそうとしているそうです。患者様は特に病気により出来ないことも増えて誰かに頼らなければならないことも多くなり、ニードが充足されにくくなるそうです。私達職員は患者さんが自らニードが充足出来るようにサポートしていく役割があります。そして、承認の欲求である「肯定されたい」という気持ちが満足するよう、出来ていること・出来たことをしっかり肯定していくことも接遇の一つであることを学ばせて頂きました。

接遇については以前に何度か研修を受けた経験もありましたが、日々の業務をしている中で行動レベルにしていけていないこともあったので、今回の接遇研修・他病棟の方との意見交換などで再確認をすることも出来ました。

看護部 市川 奈津子



リハビリテーション科だより



園芸委員会に所属しています理学療法士の松元です。園芸委員会では、当院の屋上にある花壇を使用し年間を通じて季節の花や野菜を栽培しております。現在、屋上の花壇はバラ等の季節の花に加え苺がたくさん実っております。屋上には蜂が来にくいため昨年はあまり実りませんでしたが、今年は園芸が得意な患者様のアドバイス

のもと患者様と一緒に筆を使用して受粉したところ、豊作となりました。また、歩行訓練等のリハビリの一環として屋上に来られる患者様の中には、花や苺の成長をととても楽しみにしてくださる方もいらっしゃいました。

今後とも屋上に来られた患者様や家族様にとって癒される場所になるように、患者様と一緒に花壇の手入れを行っていただくと考えております。

リハビリテーション科 松元 まり子



スプリングコンサート



平成29年3月29日(水)に東京女子医科大学看護学部音楽部の看護学生12名による「スプリングコンサート」を開催しました。可愛らしく爽やかな歌声に、患者様から「泣けた。」「これからも頑張る力をもらった。」「ボランティアや職員の気持ちが通じた。」等のうれしい声をいただきました。当院は都心の中にある病院で、自然が少ないからこそ、病院の中で患者様の癒しに繋がる活動をこれからも計画していこうと考えています。

看護部 高橋 季子

東京医療センター 藤田先生特別講演会

平成29年4月26日(水)に東京医療センター人工関節センター副センター長の藤田貴也先生をお招きして、「人工股関節全置換術と術後のリハビリについて」という特別講演会を開催しました。

講演には医局・看護部・リハビリ科を含め、医療連携室や栄養科職員など約200名参加し、実際の現場で抱えている疑問が解決でき、有意義な時間を過ごすことができました。

その中でも、最近の人工股関節置換術の術式では、筋肉を切開せずに人工股関節を挿入できる方法があり、手術後の痛みが最小限に抑えられ、歩行能力の早期回復へと繋がっていくとのことでした。また、この方法は筋肉を切開するよりも脱臼率が少ないとお話もあり、日常生活はもちろんのこと、退院後の社会活動の幅も広がっていくと思いました。

リハビリテーション科 前田 健志



グループ病院のご紹介

江東リハビリテーション病院



平成29年
10月オープン
予定

**オープニング
スタッフ募集!**

募集職種

医師・看護師・准看護師・看護補助者・
作業療法士・言語聴覚士・放射線技師・
臨床検査技師・社会福祉士・事務・
管理栄養士

たくさんのご応募お待ちしております!

お問い合わせ先

江東リハビリテーション病院 開設準備室
東京都江東区北砂2-15-27 ハビリス西大島201号室

TEL 03-6880-1555

四季だより

ごたんだ

春号
2017
VOL. 06

平成29年6月

一般社団法人巨樹の会
五反田リハビリテーション病院
広報委員会

〒141-0031 東京都品川区西五反田8丁目8-20
TEL 03-3779-8820 / FAX 03-3779-8823



- 五反田駅 (JR山手線、都営地下鉄浅草線、東急池上線) 徒歩8分
- 大崎広小路駅 (東急池上線) 徒歩3分
- 大崎駅 (JR山手線、埼京線、りんかい線) 徒歩12分